

DISCLOSURE 2026

日本ペット少額短期保険の現状

2025年4月1日～2026年3月31日



ごあいさつ

“ペットのいのちとしあわせを守る。その安心を、すべてのペットラバーへ。”

平素より、日本ペット少額短期保険株式会社をご愛顧いただき、心より御礼申し上げます。

当社は、「ペットの“いのち”と“しあわせ”を守りぬき、ペットと人が心身ともに満たされ、ともに輝く豊かな社会を創る」ことをパーパス(存在意義)に掲げています。大切なご家族であるわんちゃん・ねこちゃんがケガや病気になったとき、ためらうことなく最適な治療を受けられるように。その想いを胸に2013年に営業を開始しました。

2024年に商品構成を一新、現在『いぬとねこの保険 VIP/NEXT/LIGHT/MINI』の4つの商品ブランドを展開、わんちゃん・ねこちゃんとオーナー様の幅広い補償ニーズに対応しています。おかげさまで、多くのオーナー様よりご支持をいただき、約3万3千件(2026年3月末)のご契約を保有、2025年度は約10億円の保険金のお支払いを実施しました。

私たちは、ご契約の一つひとつが、わんちゃん・ねこちゃんとオーナー様の笑顔や安心につながる、大切な「絆の証」であると考えています。ご契約者様から寄せられる『「いぬとねこの保険」に加入していて本当によかった」という声が、私たちの原動力となっています。

2025年6月、当社はカインズやベイシア、ハンズ、ワークマンなどを展開するベイシアグループの一員となりました。グループ理念「For the Customers」を胸に、ご契約者様保護を最優先に、高い社会性と公共性を備えた保険会社としてさらなる成長を目指します。

これからも、わんちゃん・ねこちゃんと、わんちゃん・ねこちゃんを愛するすべての方に、安心と笑顔をお届けできるよう、役職員一同全力で取り組んでまいります。

今後とも格別のご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026年7月吉日

日本ペット少額短期保険株式会社

代表取締役社長 井戸坂 智祐

目次 CONTENTS

I. 会社の概要および組織	
1. 方針	4
2. 会社の特色	4
3. 会社の沿革	4
4. 経営の組織	5
5. 株式に関する事項	5
6. 会社役員に関する事項	5
II. 主要な業務の内容	
1. 取扱商品(ペット保険)	7
2. お客様相談室	11
3. 保険金のお支払い	11
4. 再保険の状況	12
5. 保険募集制度	12
6. 勧誘方針	12
III. 主要な業務の状況について	
1. 2025年度における業務の概況	14
2. 直近3事業年度における主要な業務の状況を示す指標	15
3. 直近2事業年度における業務の状況	16
IV. 会社の経営および管理体制について	
1. 会社の経営管理体制について	20
2. リスク管理の体制について	20
3. 法令等遵守の体制について	21
4. 指定紛争解決機関について	21
5. 反社会的勢力への対応	22
6. 個人情報の取扱いについて	23
V. 財産の状況	
1. 計算書類	26
2. 保険金等の支払能力の充実の状況(ソルベンシー・マージン比率)	30



I ■ 会社の概要および組織

1. 方針
 2. 会社の特色
 3. 会社の沿革
 4. 経営の組織
 5. 株式に関する事項
 6. 会社役員に関する事項
- 

I. 会社の概要および組織

1. 方針

私たちは、時代の変化と共に、個人や企業を取り巻く環境が多種多用化していく中でお客様の視点に立ち、最適な商品、サービスをご提供することで、お客様から信頼される保険事業を展開してまいります。

2. 会社の特色

少子高齢化や核家族といわれる社会構造の大きな変化の中で、当社は「ペットを愛する全ての人々の喜びと満足の文化の創造」をモットーに、ペット保険事業を通じてペットと人との幸福な共生の実現を目指し、創業時よりペット保険事業を展開してまいりました。

お客様の声や社会環境の多様化に対して、今後も真摯に目を向け、耳を傾けることにより、少額短期保険業の特性を活かし、これまでにない補償や新たな商品の開発に努めてまいります。

また、会社経営につきましては、収益性、成長性及び健全性を備えた少額短期保険業者をめざします。さらに、役員・社員一同、契約者保護の視点に立ち、社会性・公共性を併せ持つ少額短期保険業者としての社会的責任を自覚し、職務に邁進いたします。

3. 会社の沿革

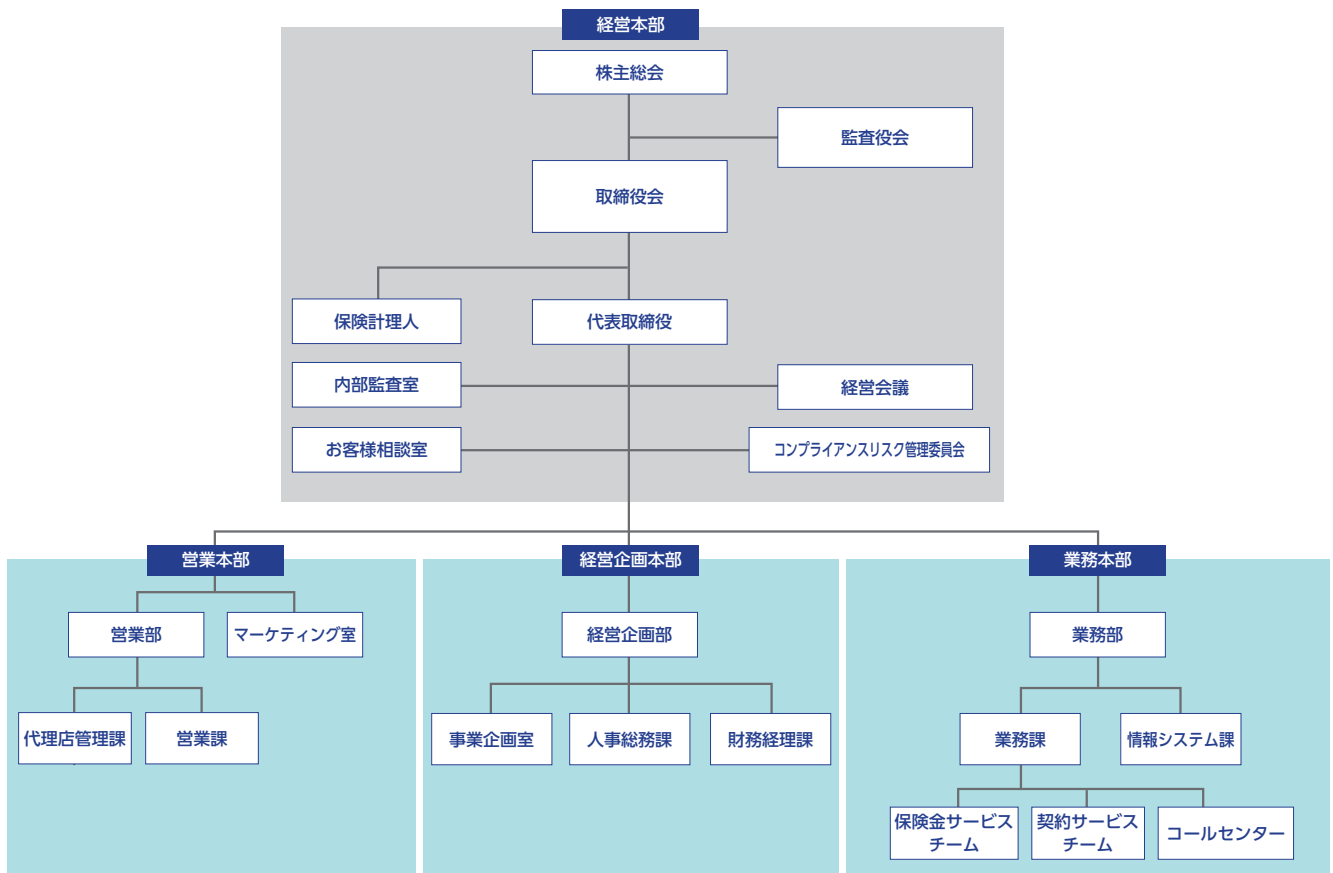
2012年 2月20日	日本ペット少額短期準備株式会社 設立
2012年12月20日	関東財務局長（少額短期保険）第61号 登録完了
2013年 1月 8日	日本ペット少額短期保険株式会社 開業
2015年 2月27日	ガーデン少額短期保険株式会社 商号変更
2018年 1月 1日	日本ペットプラス少額短期保険株式会社 商号変更
2020年 1月 1日	日本ペット少額短期保険株式会社 商号変更
2020年 7月 1日	本社移転（港区西新橋 2-35-2 ハビウル西新橋 9 階）
2022年 4月26日	株式会社スカラが株式の 100% を取得
2022年 9月20日	本社移転（渋谷区渋谷 2-21-1 渋谷ヒカリエ 32 階）
2024年 2月 1日	『いぬとねこの保険 NEXT/LIGHT/MINI』販売開始
2024年12月 1日	『いぬとねこの保険 VIP』販売開始
2025年 6月30日	株式会社ベイシアグループ総研が株式の100%を取得
2025年 12月 1日	本社移転（東京都渋谷区渋谷2-3-5 COERU渋谷二丁目 6 F）

(2026年 3 月 31 日現在)

4. 経営の組織

日本ペット少額短期保険株式会社
組織図

2026/6/30 時点



5. 株式に関する事項

- (1) 株式数
発行可能株式総数 200,000 株
発行済株式の総数 147,248 株
- (2) 当年度末株主数 1 名
- (3) 主要な株主の状況

(2026年3月31日現在)

株主の氏名又は名称	当社への出資状況	
	持株数等	持株比率
株式会社ベシシアグループ総研	147,248 株	100.0%

6. 会社役員に関する事項

(2026年6月30日現在)

氏名	地位および担当	重要な職務
井戸坂 智祐	代表取締役社長	—
土屋 裕雅	取締役	—
渡邊 喜久	取締役	—
斉藤 陽一	取締役	—
木暮 貫一	監査役	—
吉田 哲也	監査役 (社外)	—
山口 泰広	監査役 (社外)	—



Ⅱ ■ 主要な業務の内容

1. 取扱商品（ペット保険）
 2. お客様相談室
 3. 保険金のお支払い
 4. 再保険の状況
 5. 保険募集制度
 6. 勧誘方針
- 

Ⅱ. 主要な業務の内容

1. 取扱商品（ペット保険）

当社のペット保険は、お客様が本当に必要な補償をより適切な保険料で得られるよう、3つの割引でお客様の保険料負担を軽減すること、体況が安定している4歳までのペットは保険料を一定とし継続率を高める工夫をしていること、業界最高水準の補償のVIPプラン・補償と価格のバランスのよいNEXTプラン・お手軽な価格のLIGHTプラン・手術のみのMINIプランといった様々なプランを用意していること等の特徴を持った商品を取り扱っております。

家庭で飼育されているペット（犬、猫）の飼主を被保険者とし、ペットが傷病を被り獣医師の治療を受けた場合に、被保険者が負担する治療費用を約款に基づいて当社が被保険者に保険金としてお支払いするものです。

①主契約（新ペット保険）

ペット保険の顧客に対して、通院・入院・手術の治療にかかった費用を約款に基づいて補償します。必要に応じて各種特約の付加が可能です。

いぬとねこの保険 **VIP**

年間総額500万円がいくらでも何回でも使える
ワンランク上のペット保険

年間補償限度額
500万円

こんなペットオーナー様に**オススメ**

- ☒ 数あるペット保険の中でもワンランク上のペット保険に入りたい
- ☒ 歯科治療や膝蓋骨脱臼（パテラ）、慢性疾患など補償範囲はとにかく広い方がいい
- ☒ 獣医師相談サービスを利用したい

いぬとねこの保険 **ネクスト**

お手ごろなのに手厚い補償！
フルサポートの安心プラン

保険料
月々 **800円**
から

こんなペットオーナー様に**オススメ**

- ☒ 1日の限度額や年間の利用回数を気にしないで保険を利用したい
- ☒ 歯科治療や膝蓋骨脱臼（パテラ）、慢性疾患もしっかりサポートしてほしい
- ☒ 獣医師相談サービスを利用したい

いぬとねこの保険 **ライト**

業界最安クラスでも補償は十分！
愛犬・愛猫にも家計にも優しいプラン

保険料
月々 **610円**
から

こんなペットオーナー様に**オススメ**

- ☒ とにかく保険料が安く、気軽にペット保険に入っておきたい
- ☒ 通院・入院・手術の最低限は補償してほしい
- ☒ 獣医師相談サービスを利用したい

いぬとねこの保険 **ミニ**

インターネット専売の手術限定プラン

こんなペットオーナー様に**オススメ**

保険料
月々 **140円**
から

- ☒ 高額になりがちな手術の治療費だけをカバーして欲しい
- ☒ 獣医師相談サービスを利用したい

保険プラン	VIP	ネクスト				ライト		ミニ
補償割合	90%	90%	70%	50%	70%	50%	70%	70%
年間補償限度額	500万円	90万円	70万円	50万円	80万円	80万円	30万円	30万円
保険期間	1年間	1年間	1年間	1年間	1年間	1年間	1年間	1年間
自動継続	○	○	○	○	○	○	○	○
継続で年間限度額(回数)	リセット	リセット	リセット	リセット	リセット	リセット	リセット	リセット
保険契約の満了	終身まで可	終身まで可	終身まで可	終身まで可	終身まで可	終身まで可	終身まで可	終身まで可
通院	1日あたりの限度額	無制限	無制限	無制限	無制限	1万円	1万円	—
	年間 限度回数	無制限	無制限	無制限	無制限	20日	20日	—
	年間 限度額	100万円	年間補償限度額の20%	年間補償限度額の20%	年間補償限度額の20%	—	—	—
入院	1日あたりの限度額	無制限	無制限	無制限	無制限	2万円	2万円	—
	年間 限度回数	無制限	無制限	無制限	無制限	20日	20日	—
	年間 限度額	300万円	年間補償限度額の60%	年間補償限度額の60%	年間補償限度額の60%	—	—	—
手術	1回あたりの限度額	無制限	無制限	無制限	無制限	10万円	10万円	—
	年間 限度回数	無制限	無制限	無制限	無制限	2回	2回	2回
	年間 限度額	100万円	年間補償限度額の20%	年間補償限度額の20%	年間補償限度額の20%	—	—	30万円
特約	ペット賠償責任特約	セット可	セット可	セット可	セット可	セット可	セット可	—
	免責額適用特約	—	セット可	セット可	セット可	セット可	セット可	—
	歯牙特約(歯科補償)	—	○(自動セット)	○(自動セット)	○(自動セット)	—	—	—
	パテラ特約(パテラ補償)	—	○(自動セット)	○(自動セット)	○(自動セット)	—	—	—
	あんしん特約(歯牙・パテラ等を補償)	あり(自動セット)	—	—	—	—	—	—
割引	インターネット割引	○	○	○	○	○	○	—
	多頭割引	○	○	○	○	○	○	—
	無事故割引	○	○	○	○	○	○	—
新規ご加入可能年齢	生後31日以上、満7歳まで	生後31日以上、満10歳まで	生後31日以上、満10歳まで	生後31日以上、満10歳まで	生後31日以上、満10歳まで	生後31日以上、満10歳まで	生後31日以上、満10歳まで	生後31日以上、満10歳まで
獣医師相談サービス	○	○	○	○	○	○	○	○
アプリで簡単請求	○	○	○	○	○	○	○	○
全国の動物病院に対応	○	○	○	○	○	○	○	○

VIP

業界最高額の年間補償限度額 500 万円で設計されています。高額な手術や入院が必要なケースはもちろん、長期にわたる通院が必要な慢性疾患や、最新の高度医療にも対応。経済的な負担を気にせず、愛犬・愛猫に最良のケアを提供できるプレミアムな補償をお届けします。

ネクスト

年間の補償限度額内ならいくらかでも何回でも保険の利用が可能。もちろん、保険の継続時に補償限度額がリセットされるので、慢性疾患のあるペットでも長期にわたり安心してご利用いただけます。

ライト

通院・入院・手術の基本補償に、1 日の限度額や年間の利用回数制限を設けることで、より経済的なプランが実現しました。安心を無理のない保険料でサポートいたします。

ミニ

ペットの医療の中でも特に費用がかかる手術のみに特化し、かつネット申込限定とすることで、保険料を低く抑えた経済的なプランです。

②特約

・ペット賠償責任特約2023

飼育しているペットが他人の器物を損壊したり、他人の身体に傷害を与えたりした場合、これを賠償する特約です。

他人にケガを…でも大丈夫！

任意特約「ペット賠償責任特約」をセット可

ペット賠償責任特約とは、愛犬・愛猫があやまって他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合に、保険金をお支払いするものです。年間で最大100万円まで補償いたします。

＼ 保険料に月々たったのプラス90円 /

年間で最大**100万円**まで
補償いたします

※一括払の場合はプラス950円となります。

CASE
01



ペットが他人に噛み付いて
ケガをさせてしまった！

CASE
02



ペットがあやまって他人の
品物を壊してしまった！

CASE
03



ペットが他人のペットに
ケガをさせてしまった！

CASE
04



ペットが吠えて他人に
ケガをさせてしまった！

※詳しい補償内容は当社保険約款をご参照ください。

・免責額適用特約2023

免責額を適用することにより保険料の負担を軽減する特約です。

保険料がさらに安くなる！

任意特約「免責額適用特約」をセット可

『いぬとねこの保険』では、保険料の負担を軽減するために「免責額」を特約としてご自身でセットすることができます。

この「免責額適用特約」を選ぶと、診療費が1回あたり2,500円を超えた場合に、その超過分に補償割合を適用した金額が保険金として支払われます。

健康で保険を使う機会が少ない愛犬・愛猫の場合、こうした特約をセットすることで、毎月の保険料が抑えられるというメリットがあります。

・インターネット特約2023

インターネットにより契約手続きを行う場合の特約です。

・手術のみ補償特約

補償範囲を手術のみに限定する特約です。MINI プランに自動付帯されます。

いぬとねこの保険 ミニ

インターネット申込限定の手術補償限定プラン

手術補償限定のミニプランは、ペットの医療の中でも特に費用がかかる手術のみに特化し、かつネット申込限定とすることで、保険料を低く抑えた経済的なプランです。

手術に関わる費用の70%を補償します。

※本プランでは申込書(書面)でのお申し込みは受け付けておりません。

保険料
月々 **140円**
から

こんなペットオーナー様に**オススメ**

- ☒ 高額になりがちな手術の治療費だけをカバーして欲しい
- ☒ 獣医師相談サービスやスマホアプリでの簡単請求を利用したい

＼ お見積りはこちら /



・歯牙特約

主契約で補償対象外とされている「乳歯及び歯牙に関する処置」を補償する特約です。NEXT プランに自動付帯されます。

・パテラ特約

主契約で補償対象外とされている「膝蓋骨脱臼」(パテラ)を補償する特約です。NEXTプランに自動付帯されます。

「歯科治療」も
「膝蓋骨脱臼(パテラ)」も補償！



特定の犬種や猫種、年齢によって異なる健康リスクがありますが、『いぬとねこの保険ネクスト』はしっかりと補償します。
多くのペットオーナー様が特に気になる「歯科治療」や「膝蓋骨脱臼(パテラ)」も安心してお任せください。

歯科治療

膝蓋骨脱臼(パテラ)

・安心特約

主契約で補償対象外とされている「乳歯及び歯牙に関する処置、停留睪丸、睫毛乱生、涙やけ、臍ヘルニア、鼠径ヘルニア、膝蓋骨脱臼、股関節形成不全症、レッグペルテス、てんかん、チェリーアイ、気管虚脱」を補償する特約です。VIP プランに自動付帯されます。

特別な補償で幅広くカバー

「いぬとねこの保険VIP」は、ペット保険では補償対象外となりやすい歯科治療や膝蓋骨脱臼(パテラ)も補償範囲に含まれています。ペットの健康リスクは種別や年齢によって異なるため、特定の病気や高齢ペットに多いリスクにも対応しています。尿路疾患やがん、椎間板ヘルニアなどの深刻な病気から、日常的な軽い症状まで手厚くサポートし、VIPにふさわしい充実の補償をお約束します。

◆ 歯科治療

◆ 膝蓋骨脱臼(パテラ)

◆ 停留睪丸

◆ 睫毛乱生

◆ 涙やけ

◆ 臍ヘルニア

◆ 鼠径ヘルニア

◆ 股関節形成不全症

◆ レッグペルテス

◆ てんかん

◆ チェリーアイ

◆ 気管虚脱

◆ 尿管結石症

◆ 癌(がん)

◆ 嘔吐・下痢

◆ 膀胱炎

◆ 外耳炎

◆ 腎不全

◆ 椎間板ヘルニア

◆ 皮膚炎

◆ 誤飲・誤食

・クレジットカード払特約

保険料をクレジットカードでお支払いいただく場合に自動付帯される特約です。

・払込取扱票による保険料払込特約

保険料をコンビニエンスストアにてお払込みいただく場合に自動付帯される特約です。

・特定傷病除外特約

告知書に記載されたペットの傷病のうち、特定傷病を除外することにより引受けを可能とする特約です。

2. お客様相談室

当社では、お客様からの各種お問い合わせについては、お客様相談室が担当し、フリーダイヤルにて以下のようなご相談や保険商品に関する問い合わせ対応、資料送付受付等を行います。

- ・保険商品に関するお問い合わせ
- ・ご契約内容に関するご照会・ご相談
- ・事故受付・保険金の支払いに関するご照会・ご相談

3. 保険金のお支払い

(1)事故発生から保険金お支払いまでの主な流れ

①事故が発生。



②お客様から保険金の支払事由発生の電話連絡を受けた場合、保険金請求方法のご案内を行うと共に、当社より保険金請求書をご送付いたします。



③お客様が保険金請求書に必要事項をご記入頂き、必要書類を取り揃え、当社にご送付いただきます。



④当社にて支払金額等の査定(対象保険契約の有効性確認、被保険者・対象ペットの確認、支払対象かどうかの確認、事実関係の確認等)を行います。



⑤当社よりお客様の指定口座に保険金をお振込みいたします。

(2)保険金の支払体制について

- ・保険金支払査定の業務精通者を配置し、支払査定レベルの向上と専門性維持・迅速な支払いを図ります。
- ・適正な保険金支払査定を遂行するために、保険金支払マニュアル等を整備し、随時必要な改善を実施します。
- ・保険金支払基準に関しては、獣医学上の専門知識を持つ獣医師のアドバイスに加えて、適正な基準を作成し、随時改善を実施します。
- ・当社の保険金支払においては、支払査定部門における2名以上の複数名のチェックを実施することで、支払漏れを防ぐとともに、案件により、コンプライアンス・リスク管理委員会にて確認し、対応策について随時検討する体制を取っております。

4. 再保険の状況

2025 年度において、出再を行った再保険会社の数は 2 社となっております。また、当社での出再における一般的な方針等は下記の通りとなります。

(1) 出再政策

当社では、保険引受成績の安定性や収益性、資本効率、再保険コスト等を総合的に考慮した上で出再における政策を決定しております。

(2) 再保険取引先の選定

再保険取引に際し、取引先の格付けや財務状況等を評価、また出再条件等を考慮した上で再保険取引先とその金額を決定しております。また、再保険契約締結後においては、経営の健全性に影響を与えないよう、取引先の格付けの推移などを継続的にウォッチングし、信用リスクの管理を行っております。

(3) 2025 年度に出再を行った再保険会社

当社にて 2025 年度に出再を行った再保険会社は「スイス再保険」「ハノーバー再保険」となります。

5. 保険募集制度

当社は、主として、次の 2 系統を主な募集チャネルとしております。

・WEB チャネル(非対面募集)

代理店チャネルと比較して経費を抑えられるインターネットを利用して、ペットの飼主に募集を行っております。主として、当社 WEB サイトからご加入いただける直扱い、及び保険比較サイト等経由での保険契約をメインに継続的に新規募集を行っております。

・代理店チャネル(対面募集)

当社商品の趣旨に賛同していただける企業代理店や生損保代理店に保険募集代理店業務を委託しております。また、保険募集代理店業務が初めての代理店には法令等の遵守の重要性について確認の上、新規委託を行い、委託後の教育体制にも注力しております。

6. 勧誘方針

金融商品の販売等に関する法律にもとづき、当社は金融商品の勧誘方針について、以下のように定めております。

(1) 役職員ひとりひとりがコンプライアンス重視の精神を高く持ち、関連法令等を遵守した適正な販売等を行います。

(2) 常にお客さまの立場に立って行動し、お客様に商品内容を正しくご理解いただけるよう説明方法や説明内容の工夫を行います。

(3) お客さまの現在の状況を踏まえたコンサルティング活動等を通じて、お客さまに最適の商品設計・販売等を行います。

(4) 販売活動等に際しては、お客さまの立場に立って、時間帯や勧誘場所について十分に配慮いたします。

(5) 保険事故が発生した場合の保険金のお支払いに関しましては、ご契約内容に従って迅速、的確に手続きが行われるよう努めてまいります。

(6) お客さまからの貴重な御意見の収集に努め、その後のサービス向上等に活かまいります。

(7) お客さまに関する情報は、業務上必要な範囲で収集し適正に使用するとともに、厳重な管理を行うことにより個人情報の保護を行います。



III.

■ 主要な業務の状況について

1. 2025 年度における業務の概況
 2. 直近 3 事業年度における主要な業務の状況を示す指標
 3. 直近 2 事業年度における業務の状況
- 

Ⅲ. 主要な業務の状況について

1. 2025 年度における業務の概況

(1) 当社の主要な事業内容

当社は、2012 年 12 月 20 日に少額短期保険業者として登録を完了し、2013 年 1 月 8 日の営業開始から 13 年が経過いたしました。

主軸であるインターネットでのダイレクト販売については、各種プロモーション施策の展開を図りながら、今後の更なる新契約件数の伸長を目指しています。また、代理店チャネルに関しても、大手比較サイトを中心に関係強化を図りつつ販売網の拡大に注力しております。

なお、お客様へよりよいサービスを提供するため、2024 年 2 月 1 日よりペット保険の新商品の販売を開始しました。

(2) 当該事業年度における事業の経過および成果

営業 13 年度目である当事業年度については、保険料収入が 1,190,914 千円と昨年度に続き約 12 億円程度の規模で推移しています。経常費用については、保険金が 1,029,271 千円、事業費が 520,167 千円となりました。旧商品の請求増により損害率は 87.5% と前期より 7.7% 悪化しましたが、2025 年 4 月以降旧商品の更新を停止し、2026 年 3 月時点で全保有契約について新商品への移行が完了しましたので、2026 年度以降は損害率が段階的に改善する事を見込んでおります。

(3) 対処すべき課題

2025 年度において 323,888 千円の経常損失を計上しております。上記の通り新商品への全面移行に伴い収支改善を見込んでおりますが、これに加えて保有契約数の積み上げに注力する所存です。具体的には、Web チャネルにおける各種プロモーション施策の強化に加えて、ベisia グループのシナジーを活用したチャネルの拡大に注力する事で出力増を図る方針です。当社は 2025 年 6 月 30 日にベisia グループ傘下に入りましたが、既にグループ会社であるカインズ会員基盤へのマーケティング諸施策を推進中であり、中長期的には生体販売等の各チャネル開拓による新規契約獲得を図っていく予定です。これらのシナジー施策の推進により、トップラインの大幅拡大と早期黒字化を目指してまいります。

2. 直近 3 事業年度における主要な業務の状況を示す指標

(1) 保険契約に関する主な計数

(千円、%)

項 目	2023 年度	2024 年度		2025 年度		
	金額	金額	増減率	金額	増減額 (幅)	増減率
経常収益	2,302,544	2,472,262	7.4	2,306,990	-165,272	-6.7
うち保険料	1,225,292	1,268,633	3.5	1,190,914	-77,719	-6.1
経常費用	2,511,515	2,641,017	5.2	2,630,879	-10,138	-0.4
うち保険金等	977,951	1,001,140	2.4	1,029,271	28,131	2.8
うち解約返戻金等	12,203	14,267	16.9	14,833	566	4.0
うち事業費	482,480	505,556	4.7	520,167	14,611	2.9
うち保険業法第 113 条 繰延資産償却費	—	—	—	—	—	—
うち保険業法第 113 条 繰延額	—	—	—	—	—	—
経常利益	-208,971	-168,755	19.2	-323,888	-155,133	-91.9
当期純利益	-168,803	-217,595	-28.9	-325,463	-107,868	-49.6
正味収入保険料	242,337	134,317	-44.6	115,241	-19,076	-14.2
正味支払保険金	163,641	119,102	-27.2	104,774	-14,328	-12.0
正味事業費	219,540	247,945	12.9	329,216	81,271	32.8
総資産	490,503	598,113	21.9	533,581	-64,532	-10.8
保険業法上の純資産額	116,130	261,346	125	204,663	-56,683	-21.7
現金及び現金同等物の 期末残高	182,123	357,641	96.4	304,861	-52,780	-14.8
責任準備金残高	103,130	56,989	-44.7	59,690	2,701	4.7
うち普通責任準備金	46,724	25,278	-45.9	24,204	-1,074	-4.2
うち異常危険準備金	56,405	31,711	-43.8	35,485	3,774	11.9
うち契約者配当準備金	—	—	—	—	—	—
有価証券残高	—	—	—	—	—	—

(2) 経営に関する主な計数

(千円、%)

項 目	2023 年度	2024 年度		2025 年度		
	金額等	金額等	増減率	金額等	増減額 (幅)	増減率
資本金	737,505	931,258	26.3	1,063,761	132,503	14.2
(発行済株式の総数 株)	54,165	109,444	102.1	147,248	37,804	34.5
自己資本	59,724	229,635	284.5	169,177	-60,458	-26.3
供託金	27,000	27,000	0.0	27,000	0	0.0
元受損害率	80.6	79.8	-1	87.5	7.7	9.6
元受事業費率	39.8	40.3	1.3	44.2	3.9	9.7
元受合算率	120.4	120.1	-0.2	131.7	11.6	9.7
正味損害率	67.5	88.7	31.4	90.9	2.2	2.5
正味事業費率	90.6	184.6	103.8	285.7	101.1	54.8
正味合算率	158.1	273.3	72.9	376.6	103.3	37.8
経常利益率	-9.1	-6.8	25.2	-14	-7.2	-105.9
自己資本比率	12.2	38.4	214.8	31.7	-6.7	-17.4
ソルベンシー・マージン比率	365.2	745	104	1,097.7	352.7	47.3
一株当たり当期純利益	-4	-3	-66.6	-2	1	-100.0
一株当たり配当金	—	—	—	—	—	—
配当性向	—	—	—	—	—	—
内部留保率	100	100	0.0	100	0.0	0.0
年間収受保険料	505,276	391,928	-22.4	306,192	-85,736	-21.9
契約件数	28,093	32,759	16.6	32,597	-162	-0.5
被保険者数(保険の相手方)	21,723	24,581	13.2	23,845	-736	-3.0
役員数	6	6	0	7	1	16.7
内勤職員数	16	15	-6.3	25	10	66.7
営業職員数	—	—	—	—	—	—
支店数	—	—	—	—	—	—
支社数	—	—	—	—	—	—
代理店数	124	66	-46.8	60	-6	-9.1

3. 直近 2 事業年度における業務の状況

(1)主要な業務の状況を示す指標等

①正味収入保険料

(単位：千円)

	2024 年度		2025 年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	134,317	100%	115,241	100%

※正味収入保険料とは、元受正味保険料から出再契約の再保険料を控除したものをいいます。

②元受正味保険料

(単位：千円)

	2024 年度		2025 年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	1,254,366	100%	1,176,080	100%

※元受正味保険料とは、元受保険料から元受解約返戻金および元受その他返戻金を控除したものをいいます。

③支払再保険料

(単位：千円)

	2024 年度		2025 年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	-19,601	100%	-54,609	100%

※支払再保険料とは、再保険料から再保険返戻金およびその他の再保険収入を控除したものをいいます。

④保険引受利益

(単位：千円)

	2024 年度		2025 年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	-232,730	100%	-318,749	100%

⑤正味支払保険金

(単位：千円)

	2024 年度		2025 年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	119,102	100%	104,774	100%

※正味支払保険金とは、元受契約の支払保険金から出再契約における回収再保険金を控除したものをいいます。

⑥元受正味保険金

(単位：千円)

	2024 年度		2025 年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	1,001,140	100%	1,029,271	100%

※元受正味保険金とは、元受契約の支払保険金から元受保険金戻入を控除したものをいいます。

⑦回収再保険金

(単位：千円)

	2024 年度		2025 年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	882,038	100%	924,497	100%

(2)保険契約に関する指標等

①契約者配当金の額

該当なし

②正味損害率、正味事業費率およびその合算率

	2024 年度			2025 年度		
	正味 損害率	正味事 業費率	合算率	正味 損害率	正味事 業費率	合算率
ペット保険	88.70%	184.6%	273.30%	90.90%	285.70%	376.60%

※正味損害率＝（正味支払保険金＋損害調査費）÷正味収入保険料

※正味事業費率＝（保険引受にかかる営業費および一般管理費＋諸手数料）÷正味収入保険料

※合算率＝正味損害率＋正味事業費率

③出再控除前の発生損害率、事業費率およびその合算率

	2024 年度			2025 年度		
	発生 損害率	元受事 業費率	合算率	発生 損害率	元受事 業費率	合算率
ペット保険	79.8%	40.3%	120.1%	87.5%	44.2%	131.7%

④出再を行った再保険会社の数と出再保険料の上位 5 社の割合

	出再先保険会社の数	出再保険料のうち上位 5 社の 出再保険料の割合
2024 年度	2	100%
2025 年度	2	100%

⑤支払再保険料の格付ごとの割合

	出再保険料における割合	
	2024 年度	2025 年度
A－以上	100%	100%
B B B 以上	－	－
その他	－	－
合 計	100%	100%

※格付区分は、スタンダード＆プアーズ社（S＆P社）およびAM B e s t 社の格付を使用しています。

⑥未収再保険金の額

	2024 年度	2025 年度
未収再保険金額	201,944 千円	176,065 千円

(3)経理に関する指標等

①支払備金

(単位：千円)

	2024 年度	2025 年度
合 計	28,847	31,854

②責任準備金

(単位：千円)

	2024 年度	2025 年度
合 計	56,989	59,690

③利益準備金および任意積立金の区分ごとの残高

該当ありません。

④損害率の上昇に対する経常利益または経常損失の変動

損害率の上昇シナリオ	発生損害率が 1% 上昇すると仮定いたします。	
計算方法	正味既経過保険料× 1%	
経常利益の減少または 経常損失の増加	2024 年度	2025 年度
	1,179 千円	1,181 千円

(4)資産運用に関する指標等

①資産運用の概況

(単位：千円)

	2024 年度		2025 年度	
	金額	構成比	金額	構成比
預 貯 金	357,641	59.70%	304,821	57.12%
金 銭 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	—	—	—	—
運 用 資 産 計	357,641	59.70%	304,821	57.12%
総 資 産	598,113	100.00%	533,581	100.00%

②利益配当収入の額および運用利回り

(単位：千円)

	2024 年度		2025 年度	
	金額	利回り	金額	利回り
預 貯 金	57	0.01%	606	0.19%
金 銭 信 託	—	—	—	—
小 計	57	0.01%	606	0.19%
そ の 他	—	—	—	—
合 計	57	0.01%	606	0.19%

③保有有価証券の種類別の残高および合計に対する構成比

該当ありません。

④保有有価証券利回り

該当ありません。

⑤有価証券の種類別の残存期間別残高

該当ありません。

(5)責任準備金の残高の内訳

2024 年度末

(単位：千円)

	普通責任 準備金	異常危険 準備金	契約者配当 準備金等	合 計
合 計	25,278	31,711	—	56,989

2025 年度末

(単位：千円)

	普通責任 準備金	異常危険 準備金	契約者配当 準備金等	合 計
合 計	24,204	35,485	—	59,689



IV. ■ 会社の経営および管理体制について

1. 会社の経営管理体制について
 2. リスク管理の体制について
 3. 法令等遵守の体制について
 4. 指定紛争解決機関について
 5. 反社会的勢力への対応
 6. 個人情報の取扱いについて
- 

IV. 会社の経営および管理体制について

1. 会社の経営管理体制について

(1)基本的な考え方

経営管理を有効に機能させるため、代表取締役、取締役、監査役、保険計理人及び全ての職階における職員が自らの役割を理解しそのプロセスに十分関与します。

上記のみならず、株主からの経営の独立性の確保および契約者保護、法令遵守の徹底を行うために、コンサルティング会社による経営執行に関する助言、顧問公認会計士事務所による助言を求めていくものとします。

(2)経営管理体制

会社の最高意思決定機関としての取締役会においては、経営方針及び重要な各種施策を決定いたします。取締役会については、必要に応じて、保険計理人、外部コンサルタントが出席します。

また、組織規程により営業部と引受・支払の業務部を分離するなどの相互牽制、各部からの取締役会への報告など、会社の各機関の役割と責任を明確にすることで会社が自らの様々なリスクを把握して自己責任原則に基づき、業務の健全かつ適切な運営を確保できるように経営管理を行います。

(3)経営計画

経営計画に関しては単年度の事業計画および中期シミュレーションを作成します。事業計画に関しては期中に上半期の実績確認と下半期の見込みの確認を行います。

(4)内部監査

保険業法等関係法令及び社内規定が確実に実施・運営されているかどうかについて監査いたします。

内部監査規程に基づき業務が適正に行われているか業務監査を行うとともに、必要な場合においては取締役会へ問題点等を総合的に報告し、取締役会は、これに対して適切な措置を行います。

2. リスク管理の体制について

(1)基本的な考え方について

保険会社の業務においては様々なリスクが存在し、ますます多様化、複雑化する中で、当社ではリスクが保険会社の経営に重大な影響を及ぼすことの認識を持ち、実行性のあるリスク管理を実施するために、リスク管理規程を定めております。

また、様々なリスクカテゴリーごとに主管部署を指定し管理を行うとともに、総合的なリスク管理を行う為の所管部署を設置しております。

(2)リスクカテゴリーごとの管理方針

・保険引受リスク

保険引受リスク、発生率リスク、引受査定リスク、保険引受時モラルリスク、支払査定リスク、再保険出再に伴うリスク、商品開発・商品改定におけるリスク、適切な責任準備金・支払備金の積み立てが行われていないリスク等を管理します。

・事務リスク

保険引受、契約管理、保険金支払、その他管理業務等、当社が行う事務処理に関わるリスクを管理します。

- ・システムリスク

当社保険業務において、管理業務等全てのシステム、及び業務委託先が当社業務の為に使用するシステムのリスクを管理します。

- ・資産運用リスク

金融市場における市場関連リスク、信用リスク等の資産運用に関するリスク等を管理します。

- ・流動性リスク

資金の流動性を確保するとともに、資金調達のための資産流動化を円滑に行えるようにリスク管理を行います。

3. 法令等遵守の体制について

当社では会社全体での法令等遵守の観点から、コンプライアンス・リスク管理委員会を設置しており、コンプライアンス上疑義のある案件については状況把握を行い、適切な対応方法を決定しております。

また、コンプライアンス意識の定着を図るとともに、法務・コンプライアンス上の問題を的確に管理・対応し、業務執行の健全かつ適切な運営を確保するために、コンプライアンスマニュアルを制定し、社内において徹底しております。

4. 指定紛争解決機関について

当社は、指定少額短期保険業務紛争分解決機関である「一般社団法人 日本少額短期保険協会」との間で、少額短期保険業務に関する苦情処理手続及び紛争解決手続等の実施のための手続実施基本契約を締結しています。当社との間で問題解決のできない場合や、少額短期保険全般に関するご相談・苦情処理・紛争解決については、下記の『少額短期ほけん相談室』をご利用いただくことができます。

一般社団法人 日本少額短期保険協会「少額短期ほけん相談室」

電話番号(フリーダイヤル)：0120-82-1144

FAX：03-3297-0755

受付時間：9：00～12：00・13：00～17：00

受付日：月曜日から金曜日（祝祭日及び年末年始休業期間を除く）

5. 反社会的勢力への対応

当社は、反社会的勢力に対する基本方針を定め、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力と関係を遮断し、被害を防止することに努めます。

反社会的勢力排除のための基本方針

日本ペット少額短期保険株式会社(以下、当社といいます)は、2007年6月19日付犯罪対策閣僚会議幹事会申し合わせとして企業が反社会的勢力による被害を防止するための基本的な理念や具体的な対応についてまとめた「企業が反社会的勢力により被害を防止するための指針」等を遵守し、反社会的勢力との関係を遮断することを宣言します。

第1条(組織としての対応)

当社は、反社会的勢力に対しては、当方針のもとに対応ガイドライン等を策定し、社長以下経営陣を始め組織全体として対応し、不当な要求に対して断固として排除する姿勢を堅持するとともに、社員の安全を確保いたします。

第2条(反社会的勢力の定義・範囲)

反社会的勢力とは、以下のいずれかに該当する集団または個人をいいます。

- (1)暴力団、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、政治活動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等の「暴力、威力と詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する集団または個人」
- (2)前号以外で「暴行、傷害、脅迫、恐喝、威圧等の暴力を用いて不当な要求行為を行う集団または個人」

第3条(反社会的勢力との関係遮断)

当社は、市民社会の秩序と安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を持たず、毅然とした対応を行います。

第4条(外部専門機関との連携)

当社は、反社会的勢力から不当な要求を受けたときに、適切な助言、協力を得ることが出来るよう、警察、全国暴力追放運動推進センター、弁護士など、の外部専門機関等と密接な連携を保ち、反社会的勢力に対して毅然とした対応を行います。

第5条(民事と刑事の対応)

当社は、反社会的勢力からの不当要求に対しては、民事と刑事両面から法的対応を行います。

第6条(裏取引や資金提供の禁止)

反社会的勢力との裏取引、資金提供、不適切・異例な取引は一切行いません。

6. 個人情報の取扱いについて

当社は、個人情報の適切な利用・管理の重要性を十分認識し、「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」、その他の関係法令、「金融分野における個人情報保護に関するガイドライン」等を遵守して、お客様の個人情報の適正な利用と保護に万全を尽くしてまいります。

当社は、個人情報の取扱いが適正に行われるように役職員への教育・指導の徹底に努めます。また、継続的な個人情報の管理体制の整備に努めます。

(1)個人情報の取得

当社は、業務上必要な範囲内で、かつ適法で公正な手段により個人情報を取得します。

(2)個人情報の利用目的

当社は、取得した個人情報を次の目的のために利用させていただきます。利用目的を変更する場合には、その内容をご本人様に通知するか、ホームページ等に公表いたします。

- ・各種保険契約の審査、引受、履行(保険事故の調査、適正な保険金の支払い等を含みます)、維持管理
- ・当社業務に関する情報提供・運営管理、商品・サービスの充実
- ・関連会社・提携会社を含む各種商品やサービスのご案内・提供、ご契約の維持管理
- ・お客様からのお問い合わせ・ご依頼等への対応
- ・市場調査ならびにデータ分析やアンケート実施等による新たな商品の開発・研究
- ・その他、上記 5 項目に付随する業務ならびにお客様とのお取引及び会社の業務運営を適切かつ円滑に履行するために行う業務

(3)個人情報の第三者への提供について

当社は、次の場合を除き、ご本人様の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供することはありません。

- ・法令等にもとづく場合
- ・人の生命、身体または財産保護のために必要がある場合
- ・公衆衛生の向上または児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合
- ・国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けたものが法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合
- ・当社の業務遂行上必要な範囲で、保険代理店を含む業務委託先に提供する場合
- ・適正な保険金支払いのために保険事故の関係者へ提供する場合
- ・保険金支払いの健全な運営のために、他の保険業に関連する企業・団体・協会等へ提供する場合

(4)センシティブ情報の取扱いについて

お客様のセンシティブ情報については、「保険業法施行規則第 53 条の 10」及び「金融分野における個人情報保護に関するガイドライン第 6 条」によって、お客様の同意に基づき業務遂行上必要な範囲で利用するなど、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる場合に利用目的が限定されています。当社は、これらの利用目的以外には、センシティブ情報を取得、利用または第三者に提供しません。

(5)個人情報の安全管理について

当社は、取扱う個人情報の漏えい、滅失または毀損の防止、その他個人情報の安全管理のため、取扱い規定等の整備及び安全管理措置に係る実施体制の整備等、適切なセキュリティ対策を講じます。また、当社が外部に個人情報の取扱いを委託する場合には利用目的の達成に必要な範囲内でお客様の個人情報を提供し、お客様の個人情報の安全管理が図られるよう適切に管理・監督いたします。

(6)情報の開示、訂正、利用停止等

お客様がご本人様の個人情報の確認、訂正等を希望される場合は、当社お客様相談室にて対応させていただきます。当社は、ご請求者がご本人様であることを確認させていただくとともに、当社所定の書面をご提出いただいた上で手続きを行い、後日ご回答いたします。ただし、データの削除については、法的な保管義務に抵触する場合はご希望に添えない場合があります。尚、開示のご請求につきましては、当社所定の手数料をいただくことがあります。



V ■ 財産の状況

1. 計算書類
2. 保険金等の支払能力の充実の状況(ソルベンシー・マージン比率)



1. 計算書類

①貸借対照表

(単位：千円)

科 目	2024 年度	2025 年度	科 目	2024 年度	2025 年度
(資産の部)			(負債の部)		
現金及び預貯金	357,641	304,861	保険契約準備金	85,837	91,544
現金	48	40	支払備金	28,847	31,854
預貯金	357,593	304,821	責任準備金	56,989	59,690
有形固定資産	－	5,041	代理店借	1,943	1,678
附属設備		1,006	再保険借	180,960	174,924
工具器具備品	－	4,034	その他の負債	92,160	93,922
無形固定資産	－	6,900	未払費用	37,181	34,516
ソフトウェア	－	1,378	未払法人税等	910	3,434
ソフトウェア仮勘定	－	5,522	預り金	1,057	1,447
代理店貸	5	21	仮受金	53,010	54,524
再保険貸	201,944	176,065	賞与引当金	1,937	2,333
その他の資産	11,521	13,690	関係会社未払金	5,638	－
前払費用	1,853	5,270			
未収金	9,522	8,263			
仮払金	131	142			
その他の資産	13	13	負債の部合計	368,477	364,404
供託金	27,000	27,000	(純資産の部)		
			資本金	931,258	1,063,761
			資本剰余金	886,248	1,018,751
			資本準備金	886,248	1,018,751
			利益剰余金	-1,587,871	-1,913,335
			その他利益剰余金	-1,587,871	-1,913,335
			繰越利益剰余金	-1,587,871	-1,913,335
			株主資本合計	229,635	169,177
			純資産の部合計	229,635	169,177
資産の部 合計	598,113	533,581	負債及び純資産の部 合計	598,113	533,581

②損益計算書

(単位：千円)

科 目	2024 年度	2025 年度
経常収益	2,472,262	2,306,990
保険料等収入	2,408,282	2,306,362
保険料	1,268,633	1,190,914
再保険収入	1,139,649	1,115,448
回収再保険金	882,038	924,497
再保険手数料	257,611	190,950
責任準備金等戻入額	63,922	—
支払備金戻入額	-17,781	—
責任準備金戻入額	-46,140	—
資産運用収益	57	606
利息及び配当金等収入	57	606
その他経常収益	—	22
その他経常収益	—	22
経常費用	2,641,017	2,630,879
保険金等支払金	2,135,457	2,104,944
保険金等	1,001,140	1,029,271
解約返戻金等	14,267	14,833
再保険料	1,120,048	1,060,838
責任準備金等繰入額	—	5,706
支払備金繰入額	—	3,006
責任準備金繰入額	—	2,700
事業費	505,556	520,167
営業費及び一般管理費	498,879	509,849
租税公課	5,972	9,233
減価償却費	704	1,085
その他の経常費用	3	60
支払利息	3	—
関係会社支払利息	—	—
雑損失	—	60
経常損失	-168,755	-323,888
特別利益	—	0
特別損失	-11,222	0
税引前当期純損失	-179,977	-323,888
法人税及び住民税	37,609	1,574
法人税等調整額	8	0
法人税等合計	37,617	1,574
当期純損失	-217,595	-325,463

③キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	2024 年度	2025 年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
保険料の収入	1,263,885	1,193,687
再保険による収入	1,138,243	1,141,327
保険金等支払による支出	-1,001,170	-1,029,283
解約返戻金等支払による支出	-14,267	-14,833
再保険料支払による支出	-1,102,127	-1,066,874
事業費の支出	-513,181	-531,383
その他	—	—
小計	-228,619	-307,360
利息及び配当金等の受取額	57	606
利息の支払額	-3	0
その他	0	-37
法人税等の支払額	16,577	948,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	-211,987	1,516,000
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得支出	—	-11,941
その他	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	-11,941
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入による収入	—	—
借入金の返済による支出	—	—
株式の発行による収入	387,505	265,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	387,505	265,006
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
V. 現金及び現金同等物の増加額 (△は減少)	175,518	52,780
VI. 現金及び現金同等物期首残高	182,123	357,641
VII. 現金及び現金同等物期末残高	357,641	304,861

④株主資本等変動計算書

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

(単位：千円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越利益 剰余金			
前期末 残高	737,505	692,495	692,495	-1,370,276	-1,370,276	59,724	59,724
新株の 発行	193,752	193,752	193,752			387,505	387,505
当期 純利益				-217,595	-217,595	-217,595	-217,595
当期 変動額 合計	193,752	193,752	193,752	-217,595	-217,595	169,910	169,910
当期末 残高	931,258	886,248	886,248	-1,587,871	-1,587,871	229,635	229,635

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

(単位：千円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越利益 剰余金			
前期末 残高	931,258	886,248	886,248	-1,587,871	-1,587,871	229,635	229,635
新株の 発行	132,503	132,503	132,503			265,006	265,006
当期 純利益				-325,463	-325,463	-325,463	-325,463
当期 変動額 合計	132,503	132,503	132,503	-325,463	-325,463	-60,457	-60,457
当期末 残高	1,063,761	1,018,751	1,018,751	-1,913,335	-1,913,335	169,177	169,177

2. 保険金等の支払能力の充実の状況（ソルベンシー・マージン比率）

(単位：千円)

	2024 年度	2025 年度
(A) ソルベンシー・マージン総額	261,346	204,663
① 純資産の部の合計額 (社外流出予定額・評価・換算差額等および繰延資産を除く)	229,635	169,177
② 価格変動準備金	—	—
③ 異常危険準備金	31,711	35,485
④ 一般貸倒引当金	—	—
⑤ その他有価証券評価差額（税効果控除前）（99%又は 100%）	—	—
⑥ 土地の含み損益（85%又は 100%）	—	—
⑦ 契約者配当準備金の一部（除、翌期配当所要額）	—	—
⑧ 将来利益	—	—
⑨ 税効果相当額	—	—
⑩ 負債性資本調達手段等	—	—
告示（第 14 号）第 2 条第 3 項第 5 号イに掲げるもの（⑩ (a)）	—	—
告示（第 14 号）第 2 条第 3 項第 5 号ロに掲げるもの（⑩ (b)）	—	—
(B) リスクの合計額 $\sqrt{[R12 + R22] + R3 + R4}$	70,158	37,288
保険リスク相当額	66,627	34,094
R1 一般保険リスク相当額	66,627	34,094
R4 巨大災害リスク相当額	—	—
R2 資産運用リスク相当額	12,474	11,325
価格変動等リスク相当額	—	—
信用リスク相当額	3,575	3,048
子会社等リスク相当額	—	—
再保険リスク相当額	6,879	6,516
再保険回収リスク相当額	2,019	1,760
R3 経営管理リスク相当額	2,373	1,362
(C) ソルベンシー・マージン比率 $(1) / \{(1/2) \times (2)\}$	745.0	1,097.7

日本ペット少額短期保険株式会社

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-3-5 COERU渋谷二丁目6F

Tel:03-6834-3899(代表)

2025年度 個別注記表

I 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

(1)無形固定資産

定額法によっております。

自社利用のソフトウェアは、社内における見込利用可能期間(5年)に基づいております。

2. 引当金の計上基準

賞与引当金-従業員の賞与支給に備える為、賞与支給見込額のうち、当期に帰属する金額を計上しております。

3. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっております。

II 重要な会計上の見積りに関する注記

当社の財政状態または経営成績に対して重大な影響を与え得る会計上の見積りを含む項目は、以下のとおりであります。

1. 支払備金

(1)当事業年度の計算書類に計上した金額

支払備金 31,854千円

(2)重要な会計上の見積りの内容に関する情報

①算出方法

保険契約に基づいて支払義務が発生したと認められる保険金のうち、未だ支払っていない金額を見積り、支払備金として計上しております。

②算出に用いた主要な仮定

支払備金の計上にあたっては、主として過

去の支払実績等から算出した仮定を用いて見積った最終的に支払う保険金の見込額を使用しております。

III 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額は、1,061千円であります。

2. 支払備金の内訳

普通支払備金(出再普通支払備金控除前)

60,099千円

同上に係る出再普通支払備金

54,027千円

差引(イ)

6,072千円

IBNR支払備金(出再IBNR備金控除前)

255,177千円

同上に係る出再IBNR備金

229,396千円

差引(ロ)

25,781千円

計(イ+ロ)

31,854千円

3. 責任準備金の内訳

普通責任準備金(出再普通責任準備金控除前)

242,047千円

同上に係る出再普通責任準備金

217,842千円

差引

24,204千円

異常危険準備金

35,485千円

計

59,690千円

IV 損益計算書に関する注記

1. 正味収入保険料及び正味支払保険金の内訳

(1)正味収入保険料

保険料 1,190,914千円

解約返戻金 △14,833千円

出再保険料 △1,060,838千円

差引	115,243千円	IBNR備金繰入額(出再IBNR備金控除前)	
(2) 正味支払保険金			40,709千円
保険金等	1,029,271千円	同上に係る出再IBNR備金繰入額	
回収再保険金	△924,497千円		37,312千円
差引	104,774千円	差引(口)	3,396千円
		計(イ+口)	3,006千円
2. 利息及び配当金等収入の内訳		4. 責任準備金繰入額の内訳(△は戻入額)の内訳	
預貯金利息	606千円	普通責任準備金繰入額(出再普通責任準備金控除前)	△10,738千円
3. 支払備金繰入額(△は戻入額)の内訳		同上に係る出再普通責任準備金繰入額	
普通支払備金繰入額(出再普通支払備金控除前)	△1,822千円		△9,664千円
同上に係る出再普通支払備金繰入額		差引	△1,073千円
	△1,431千円	異常危険準備金繰入額	3,774千円
差引(イ)	△390千円	計	2,700千円

V 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数

(単位:株)

	当事業年度 期首株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式 普通株式	109,444	37,804	-	147,248

VI 金融商品に関する注記

1. 当社は、資産運用については短期的な預金に限定し、運用を行っております。
尚、当社は少額短期保険業を行っておりますが、保険契約は「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日 企業会計基準委員

会)の適用対象外となっております。

2. 金融商品の時価等に関する事項
預貯金は短期間で決済される為、時価が帳簿価格に近似することから注記を省略しております。

VII 関連当事者との取引に関する注記

親会社

種類	会社等の名称 又は氏名	議決権等の所有 (被所有)割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目
親会社	(株)ベシアグループ総研	(被所有)直接 100.0%	資本取引	新株の発行 (注1)	265,006	-

取引金額には消費税等を含んでおりません。
取引条件及び取引条件の決定方針等
(注1)新株の発行は、2025年9月25日に当社の

行った株主割当による増資(普通株式37,804株)を、同社が1株につき7,010円で引き受けたものであります。

VIII 1株当たり情報に関する注記

1. 1株当たりの純資産額 1,148円93銭
2. 1株当たりの当期純損失 △2,524円64銭

IX その他

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。



日本ペット少額短期保険株式会社

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 2-3-5 COERU渋谷二丁目 6F

Tel:03-6834-3899 (代表)

